

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2022年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
2. 招集について、トラック競技は各競技開始時刻の15分前、フィールド競技は25～60分前に完了し、同時にアスリートビブス（ナンバーカード）の確認を行う（棒高跳は現地で行う）。また、招集時刻が他の競技時刻と重なっている場合は**同時出場届**を、棄権する場合は、**欠場届**（用紙は招集所に準備）を招集開始時刻までに競技者係に提出する。
3. アスリートビブス（ナンバーカード）は、胸、背部に確実につけること。ただし、跳躍種目については片方だけでもよい。トラック競技は本部で用意した腰ナンバーカードを指定された位置につけること。腰ナンバーカードは競技開始直前に付け、終了直後に必ず返却する。
4. U16では、着順または、時間を元に次のラウンドに進出のための最後の1枠を決定するにあたり、同成績者がいる場合、全員を有資格者とすべきであるが、不可能であれば抽選によって決める。また、決勝の走路順は、本部で抽選によって決める。
5. 競技用具は、会場備え付けの物を使用する。ただし、棒高跳のポールについては各自のものを使用してもよい。また投てきの用具は、一般・高校・中学用のものを使用する。その他の物は、検定を行う場合があるが、許可なく競技場内に持ち込んではならない。
6. 投てき練習は危険防止のため競技開始前、審判の指示によって行う。なお、練習会場（補助競技場等）での投てき練習は禁止する。
7. 競歩において、周回を残し、男子30分、女子32分を超えた者については、競技を打ち切るものとする。
8. フィールド種目（高さの種目を除く）の試技数は3回とする。
9. 記録証を必要とする者は表彰係へ申し出ること。（記録証代100円）
10. 新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用・手指消毒・3密回避等に努めること。また、競技が終了した選手は速やかに帰宅すること。
11. 応援について、大きな声を出しての集団応援は禁止する。また、横断幕や幟の設置は本部の指示に従って設置すること。
12. 助力について、競技規則TR6に従う。なお、スタンドから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡したりしての映像確認は認めない。
13. 環境美化について、各大会で清掃分担が割り当てられているが、グラウンド・スタンド・選手控え所・トイレ・更衣室など、使用した周囲も含めて美化に努めること。また、ゴミは必ず分別して所定の場所に出すこと。補助競技場の清掃分担にあたっている学校は、使用された用器具をすべて片付けること。